

五輪より命！政治の責任果たせ

比例中国
キャラバン

都議選での躍進、総選挙での比例議席奪還を訴え

新型コロナウイルスによる感染が断続的に広がり、感染対策、生活支援が求められるなか、菅・自公政権は6月16日に国会を閉会し、国民世論を無視してオリ・パラ開催にまっしぐら。日本共産党は、大平よしのぶ前衆院議員を先頭に、「五輪より命を」「政治の責任を果たせ」と全力をあげています。



広島駅北口で街頭演説する大平よしのぶ、すみより聡美の各氏

前衆議院議員（比例中国・名簿登録予定者）

大平よしのぶ

喜信

日本共産党



仁比前参院議員も街頭宣伝

仁比聡平前参院議員も6月20日、広島市の繁華街で街頭宣伝。都議選と総選挙の勝利、市民と野党の共闘前進と党躍進・衆院比例中国ブロックの議席奪還を訴えました。

大西オサム（広島1区）、藤本さとし（同2区）予定候補らとともに呼びかけました。（写真）また仁比氏はこの日、佐伯区、西区でも訴えました。



民青広島代表らとコロナ禍の学生青年対策を求める大平氏（中央右）

来るべき総選挙での比例議席奪還に向け「キャラバン行動」に取り組む大平前衆院議員は、国会閉会翌日の17日、すみより聡美衆院比例予定候補とともに広島駅北口で街頭宣伝。

大平氏は、高齢者医療費2倍化、病床削減、土地利用規制法を強行し、検査体

制やワクチン接種の遅れなどコロナ対策の失敗に向き合わない菅政権を厳しく批判し、「7月4日投票の都議選、来るべき総選挙で審判を下し、政権交代を実現しよう」と強調しました。

19日の岡山2区キャラバンには、小松泰信岡大名誉教授が駆けつけ訴えました。

民青の県要請に同行

食糧支援で集めた声とどける

大平前衆院議員は6月16日、コロナ禍での学生・青年支援策を求めた民青同盟広島県委員会の対県要請行動に同行。学生への食糧支援活動などで寄せられた学生のリアルな実態を県当局に届けました。

学生への経済的支援の拡充やコロナ感染対策などを求め、県当局も「県内20大学でワクチン接種実施を検討中」「第二の就職氷河期をつくってはならない」などと応えました。

医療福祉労働者後援会のオンライン交流会で決意表明する大平氏



総選挙勝利へダッシュ！ 分野別後援会オンライン集会で訴え

中国地方の分野別の日本共産党後援会があいついでオンライン交流会を開催。大平前衆院議員は活動を報告し、総選挙での比例議席奪還の

決意を表明しました。

26日の医療福祉労働者後援会では、倉林明子参院議員が医療改悪などの国会報告と党議員団の役割を語りました。

おおひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。



登録、拡散をお願いします。

制度
解説

衆院 比例代表は「日本共産党」と 候補者名は無効です 政党名を書きます

大平喜信 前衆院議員
いきいきニュース

2021年7月4日 No.28

発行 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31 日本共産党国会議員団中国ブロック事務所
日本共産党の大平よしのぶ前衆院議員の活動と同党の見解を紹介します。